

知ってるようで  
知らない

# 日本古来の自然を守ろう！

Let's save our Japanese Old Nature

## オオキンケイギクとそれを取り巻く環境の巻

### ★ はじめに

こんにちは、木曾川上流河川事務所揖斐川第一出張所です。

今回の揖斐川第一出張所だよりのテーマは、河川の堤防に自生している特定外来植物（オオキンケイギク）についてです。



オオキンケイギク（出典：国土交通省）



群生するオオキンケイギク

### ★特定外来生物って何？

特定外来生物とは、海外起源の外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼす恐れがあるものの中から指定されています。そのため、その飼育、栽培、保管運搬、販売、譲渡、輸入、野外へ放つ、ことが原則禁止されています。

### ★ 違反したらどうなるの？

特定外来生物は、たとえば野外に放たれて定着してしまった場合、人の生命・身体、農林水産業、生態系に対してとてもおおきな影響を与えることが考えられます。場合によっては取り返しのつかないような事態を引き起こすことも考えられますので、違反内容によっては非常に重い罰則が課せられてしまうのです。（参考：環境省 HP より抜粋）

### ★ところで、どんな特定外来生物が自生しているの？

河川のほとんどの堤防では、オオキンケイギク（キク科）が自生していることが確認されていますが、オオキンケイギク以外にも自生等している可能性もあるかもしれません。ここでは、オオキンケイギクの特徴、駆除方法等について掲載します。



拡大

オオキンケイギクの種

### ● 特徴は？

花は5月～8月に密集して咲き、花びらの先が鶏冠状にギザギザになっています。

茎は高さ30～70cmでかたまって生えています。

茎葉は対になって生え、根元から出る葉には長い柄があり、葉の表裏とも粗い毛があります。

地下茎はよく発達し、そこから繁殖します。

種子の周囲に円形状の羽があり、風に乗って飛散します。



拡大

オオキンケイギクの根

### ● 生態は？

5月～8月に黄色の花が密集して咲きます。堤防の草刈りで刈られた後は、数は少ないながら二番草が咲きます。

8月中旬から実をつけ、羽のある種子を落とすが飛翔能力は高くありません。地下茎が発達し、そこから束になって茎が伸びるので、地上部分を刈り取っても同じ場所にまた生えてきます。

● 拡散の原因

明治時代に園芸植物として導入され、美しく強いことから「ワイルドフラワー」とよばれる緑化の材料として多用され、全国に広がったようです。栽培する人も多く、花が美しく目立つので、草刈りの際にわざわざ刈り残されるなどして、雑草の中でも特別扱いされていたそうです。

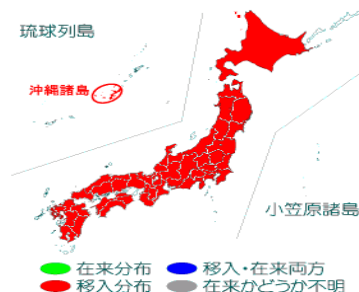
● 国内移入分布

右図のとおり、沖縄を含むほぼ全国に移入されています。

木曾川にある河川環境楽園では、ボランティアを募って特定外来植物であるオオキンケイギクを根元から引き抜き、駆除を実施。

また揖斐川第一出張所管内の堤防においても、堤防の除草を行う前に根元から引き抜き駆除を行っています。

しかしながら、オオキンケイギクによる堤防への浸食は年々進行しています。このままでは、堤防の法崩れを予防する芝が全て枯れてしまい堤防が崩れる危険度が上がっています。



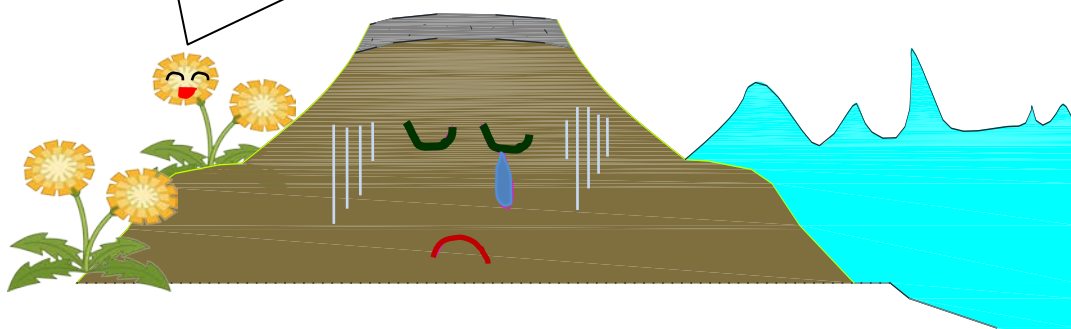
資料提供：国立環境研究所HP

★ ではどうすれば駆除できるの！

**花期には、根元を持って引き抜き、ビニール袋に入れて焼却処分するか枯死させることが必要です。種子をつけた時期は、種子を拡散させないようにビニール袋に入れて焼却処分が必要です。**

オオキンケイギクは地下茎で増えるため、地上部分を刈り取っただけでは生え続けます。数回に渡って地上部分を刈り続ければ、地下茎を弱らせるとの文献もありますが、それも生えてきたら刈るという作業を数回続けるという手間が必要です。

しかし、僕たちオオキンケイギクを根元から引き抜くという地道で根気強い作業がまだまだ浸透していません。是非、この方法で駆除を進めることが、僕たちオオキンケイギク浸食の防止に繋がっていくと思いますので、皆様ご協力をお願いします。(by：オオキンくんより)



国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所

揖斐川第一出張所

お問い合わせ先

TEL (0585) 22-1108